

授 業 科 目	<b>技術論</b>		
開設学科学系	全専門学科	区 分 ・ 単 位 数	専門共通・選択・1単位
受講年科・学期	全専攻2年・前期	授 業 形 態	演習
キ ー ワ ー ド	技術史、モノづくり、知的所有権、人工物、環境問題		
関 連 科 目	現代と文明、技術倫理、専門科目全般		
担 当 教 官	天摩 勝洋、橘川 五郎、高橋 克夫		
連絡先(オフィス)	事前に、各教官へメールで予約をお願いしたい。		
教 科 書			
補助教科書等			
参 考 図 書			
プログラム目標	(A-2)		
達 成 目 標 (合格点)		各達成目標の評価方法(評価の割合/重み)	
・技術史についてその概要を理解し説明することができる。		・レポート(34%)で評価する。	
・技術開発や研究成果の権利化、知的財産権について修得する。		・レポート(33%)で評価する。	
・身近な環境問題についての認識を深め、科学的に環境を見る眼を修得する。		・レポート(33%)で評価する。	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術とは何か、モノ作りとは何か、技術と人間社会との係わり合いの視点から考察することを勧める。</li> <li>・科学技術が人間の生活を快適にすると共に、その負の側面にも目を向けて科学技術を洞察すること勧める。</li> </ul>		
授 業 計 画			
項 目	内 容		時間数
・授業ガイダンス	・技術論のガイダンス, 各テーマの説明		2
・もの作りの形成とその歴史	・技術とは何か, どのように歴史的に形成されたか		4
・技術の発明と知的所有権	・発明と技術・知識の資産化について		4
・失敗から学ぶ	・科学技術の安全性について考える		4
・授業座談会とアンケート	・座談会とアンケート		2
合計授業時間数(前期の定期試験は除く)			16
成績の算出方法	各担当者のレポートを総合して評価する。		